

2020年6月の Global Session のお知らせ

期日:2020年6月6日(土) 10:30~12:00(330 回目)

場所:ガレリア3階 第4会議室(左端の部屋)

ゲスト:品田井 サフワン(サフィ)さん(シリア出身・会社員)

コーディネーター:児嶋きよみ(Office Com Junto)主宰

タイトル:私の歩み(言語:日本語)

参加費:600円

申し込み:通常は不要ですが、今回は、あまり接することも懸念されるため、できるだけ事前にお申し込みください。(児嶋 e-mail:kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp)

みなさま:久しぶりにお知らせをお送りすることができるようになりました。3月・4月5月と休み、それぞれのゲストの方には、延期をさせていただいています。

6月はサフィさんをお願いしましたところ、日本語で書いて送っていただきました。ひまわり教室(外国につながる子ども・保護者の学習支援教室)のメンバーのおひとりです。子どもさんは、小学2年生(男子)と5年生(女子)のおふたりです。

セッションですので、GSの約束ごととして、「当てない・黙っていてもいい・どこからで

も対話に入ってきていい」を守り、ゲストと共に、参加者も大切なメンバーです。

今後ともよろしくお願いします。(児嶋きよみ)

私の歩み

私はシリアアラブ共和国という中近東の国で1978年7月24日に生まれ、この国の北部アレッポという大都市で育ちました。6人家族で、父、母、妹が教育関係の仕事で母国の子供たちの育成に貢献していました。

義務教育である小中学校を含め、高校と大学を無償で通いました。高校時代から留学を夢で見えていましたが、様々な理由によって実現することが中々出来ませんでした。でも、一つ一つクリアしていくことにし、目標に向かって励んでいきました。最初は英語が唯一母国語以外に使えていた言語でしたので、英語圏の国々を目指して留学のチャンスを探りました。そしてさらに現実の難しさに直面し、学費の高さと留学ビザの取得のハードルで、何度挑戦しても断念しなければならない結果で終わっていました。

一方で、英語の勉強は続け、いろんな国の文化について情報を集めることを始めました。特に日本に深い興味を持ち、実家で使われていた電気製品やテレビアニメの裏にどんな真相が潜んでいるのかを明かすために日本からシリアを訪れていた JICA のボランティアなどと交流を深めました。

そうこうしているうちに光が見えてきました。留学先として考えもしていなかった日本は第一志望の留学先になりました。のちに周りの日本人の友達に助けをもらい、たくさんの生活の情報や大学入学の必要条件を共有してもらいました。やがて、大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学に入学ができ、充実した学生生活を送ってきました。

大学では奨学金をもらい続けるために勉強はもちろん、クラブ活動もバランスを保ちながら、両立は自分なりにできていました。大学での専攻は観光学(Sustainable Tourism)で、観光地を破壊せずに旅行者を楽しませる方法や戦略を勉強しました。部活では沖縄生まれの剛柔流空手道と恋に落ち、途中で主将に就任し、4年間で黒帯3段を獲得しました。空手を通じて人生でも役に立つスキルをたくさん学んできました。

生計を立てるために日常生活の合間にアルバイトもやりました。料理店から英会話スクールまで様々な経験をしながら、いろんな人と接しました。

留學生活においては一番の支えだったのが、3年間一緒に過ごさせてくれたホストファミリーです。実親や兄弟と離れて生活する中で、家族のような存在でした。今でも交流が続いて、毎年、第二の故郷へ帰省することにしています。

卒業後は自分の専門分野ではなく、趣味として持っていたコンピューター知識を生かし、大手企業に就職しました。東京での1年の研修を経て名古屋へ配属されました。他の新卒と同様に新しいことに挑戦し、世界にたくさんの拠点を置いている企業のプロジェクトに参加しました。その時は大学で得た母国語と英語以外の多言語能力を発揮し、同僚の手助けもしました。

ある程度、生活が落ち着いて土台ができたあと、のちに人生のパートナーとなる魅力的な女性が

現れました。そろそろ家族を作らなければならないという合図でした。結婚後に二人の天使に恵まれ、今は夫婦二人で苦勞を掛けながら、育てています。

人生の半分になりかけていた日本での生活を振り返る時間を見つけて、大好きな日本と十数年前に離れたシリアを思い浮かび、そこで大きな決断をすることにしました。家族で帰化し、日本人として暮らすことで、さらに安定した生活を送ることです。将来は何らかの形で、生まれ育ったシリアへの恩返しをしたいと思い、それを子供へ引き継ぐことは私の役目です。

もともと仕事を中心となっていた人生でしたが、夫婦で悩んだ末、生活の拠点を京都に移し、転職を決めました。現職は海外で営業から調達へと幅広く担当しているにも拘らず、家族の時間が以前みたいに削られることなく、子供の成長を見ながら、働けるのがこの移動で得られた大メリットです。そして、なんといっても亀岡市という豊かな自然を持つ町で暮らすのが、最もうれしいことです。

人生の凸凹がたくさんあって、人間は不思議と辛い経験が薄れていき、残るのが幸せな時間です。少なくともこれは私の思い込みかもしれません。「雲の上はいつも晴れ」☺

2020年度(4月から)の予定

4月11日 スティーブさん(アメリカ出身)→7月に延期

5月30日(土) 品田井サフワン(ヒンダウィ・サフィー)さん(シリア出身) 6月6日へ

6月 濱田雅子さん 服飾から見た生活文化シリーズ 18回目→8月に延期

映画鑑賞『ザ・トゥルーパー コスト・ファストファッション 真の代償一』(1時間半)

事前に鑑賞日を案内予定

7月 スティーブさん(アメリカ出身・英語講師)

Of Idioms, Tongue-twisters, Onomatopoeia and Proverbs

8月 濱田雅子さん 服飾から見た生活文化シリーズ 18回目

9月 崎ミチさん(カナダ出身・大学教員) ←2020年3月から延期

Awareness, attitudes and language: Learning about Interculturality and Diversity in the EFL classroom

10月:サムさん(カナダ)&クリスティンさん(アメリカ)

11月:未定

12月:オジュグさん「ポーランドのクリスマス料理第2回」1月・2月・3月は未定